

ジクアス LX の忍容性と涙液およびマイボーム腺所見の客観的特徴に関する検討 Study of tolerability of Diquas LX and tear film and meibomian glands findings

ジクアス LX 忍容性と客観的所見 Tolerability of Diquas LX

有田玲子 (伊藤医院、LIME 研究会)、福岡詩麻 (大宮はまだ眼科西口分院、LIME 研究会)、海道美奈子 (和田眼科、LIME 研究会)

目的：長時間作用型シクアホソル(DQS)点眼液 (DQS-LX) は点眼回数の減少によりアドヒアランスの面で利点が多い。しかし、従来の DQS を好む症例もある。各点眼を嗜好する症例の特徴を明らかにするため、ドライアイ(DE)・マイボーム腺(MG)所見についてレトロスペクティブに検討した。

方法：対象は伊藤医院で DQS から DQS-LX に変更した DE 患者 341 名 (62.1±11.7 歳) で、DQS-LX を継続した者 (DQS-LX 群) と従来の DQS に戻すことを希望した者 (DQS 群) の 2 群に分けた。検査項目は DQS-LX 切り替え時の自覚症状 (SPEED)、涙液安定性 (BUT)、涙液メニスカス (TMH)、角結膜上皮障害 (CFS)、結膜充血・乳頭、マイボスコア、Plugging、Vascularity、マイバムグレード、シルマー値である。

結果：341 名のうち 31 名 (9.1%) が従来の DQS に戻すことを希望した。解析可能例は、DQS 群 16 名 32 眼、DQS-LX 群 32 名 64 眼であった。DQS-LX 群は DQS 群に比べ、SPEED スコア、BUT、TMH、CFS、マイバムグレード、Plugging (各 $P<0.01$)、シルマー値 ($P=0.008$) が有意に悪かった。一方、DQS 群はアレルギー性結膜炎の合併が多かった ($P<0.01$)。

結論：涙液量が少ない患者、中等度以上の MG 機能不全が合併している DE 患者では DQS-LX を、アレルギー所見のある症例では DQS を好む傾向があった。